

温室効果ガス削減目標に関して「SBT イニシアチブ」の認証を取得

不二製油グループ本社（社長：清水洋史）は、当社が設定した国内外の不二製油グループの温室効果ガス中期削減目標が国際的なイニシアチブである「Science Based Targets（以下、SBT）イニシアチブ」により承認されました。SBTi は、CDP、国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）の国際的な共同イニシアチブです。企業による温室効果ガス削減目標が、パリ協定にある「世界の気温上昇を産業革命前の気温と比べて2℃を十分に下回る水準抑え、また1.5℃に抑えることを目指す」ために必要な脱炭素化のレベルと一致しているかどうかを、科学的根拠に基づいているか検証、認定しています。



不二製油グループでは SBTi からの認定をもとに 2010 年 3 月に策定した「環境ビジョン 2030」を見直しました。当社は今回はじめて Scope3 のデータを集計し、サプライチェーン全体における GHG 排出量を把握致しました。今後はより一層の省エネ、再生可能エネルギーの導入、新技術による製品開発 などの施策を打ち出し、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

旧) 環境ビジョン 2030
① CO2 排出量を 24%削減
② 水使用量を原単位で 20%削減
③ 廃棄物量を原単位で 10%削減
④ 再資源化率 99.8%以上を維持(日本グループ社)

パリ協定に沿って、SBT 認証を取得

新) 環境ビジョン 2030 (2016年基準、2030年目標)
① CO2 排出量 スコープ 1&2[※] 40%削減、スコープ 3[※] カテゴリ 1 18%削減
② 水使用量を原単位で 20%削減
③ 廃棄物量を原単位で 10%削減
④ 再資源化率 99.8%以上を維持(日本グループ社)

○SBTi :

* 1) Scope1: 自社での燃料使用や生産プロセスからの直接排出

Scope2: 自社が購入した電気や熱の使用による間接排出

* 2) Scope3: 1,2 以外の間接排出 (原料調達、製品輸送・使用・廃棄、社員の通勤・出張等)